



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 かどや製油株式会社

コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,437	△2.8	600	△28.2	624	△26.6	366	△25.7
24年3月期第1四半期	5,599	0.2	836	6.5	851	4.6	492	10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	38.95	ー
24年3月期第1四半期	52.44	ー

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	21,948	17,917	81.6	1,906.15
24年3月期	23,201	18,194	78.4	1,935.63

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 17,917百万円 24年3月期 18,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	ー	0.00	ー	65.00	65.00
25年3月期	ー				
25年3月期（予想）		0.00	ー	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,000	0.4	1,300	△18.1	1,300	△17.6	800	△12.4	85.11
通期	22,000	3.0	2,600	△0.3	2,600	△0.4	1,500	4.2	159.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	9,400,000株	24年3月期	9,400,000株
25年3月期1Q	149株	24年3月期	124株
25年3月期1Q	9,399,870株	24年3月期1Q	9,399,876株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州債権問題などで世界経済の減速懸念があるものの、原油価格の下落や円高に歯止めがかかりつつあることを背景に厳しい状況を脱しつつあります。

食品業界におきましては、昨年の生牛肉による食中毒事件が起きる等食品の安全性の見直しが進み、7月1日から牛レバーの生食が禁止されたことや景気デフレ下で価格への転嫁が難しい中、米国の天候不順による穀物価格の上昇が予想される等引き続き厳しい状況が予想されます。

このような状況下、当社はテレビコマーシャルや抽選による現金プレゼントキャンペーンを実施することで需要の掘り起こしを図りましたが、好調だった前第1四半期累計期間には届かず売上高は前年同期比2.8%減となりました。

コスト面では、製品の安全性をより高めるための業務改善を行ったことによる製造経費の増加があったものの、昨年後半の円高の影響等で原料払出価格が低下したこと等から、売上原価は前年同期比3.8%減となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、販売数量を確保するため現金プレゼントキャンペーンやテレビコマーシャルを積極的に展開したこと等により、販売経費は前年同期比17.2%増加したため、全体では前年同期比12.2%増加となりました。

この結果、売上高は5,437百万円(前年同期比162百万円減)、経常利益は624百万円(前年同期比226百万円減)、四半期純利益は366百万円(前年同期比126百万円減)となりました。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、昨年から続く焼肉業界の冷え込みは一時より回復の兆しが見えますが以前の水準に戻るまでには至っておらず、これまで堅調に推移して行きた家庭用も長引く景気デフレ下において進む内食への回帰が自宅での調理から惣菜品の購入に変化しつつあること等から前年を下回る状況となりました。

また、原料購入価格が前期を下回っており、為替が円高で推移していることとあわせ単位当たりの原価は前期を下回る状況であります。

こうした環境下において、積極的な販売促進活動を行う等、販売数量を確保するための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は4,450百万円(前年同期比111百万円減)、セグメント利益は475百万円(前年同期比187百万円減)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましても、景気デフレ下、消費者の節約志向、買い控え等の動きが続き、需要の顕著な回復は見られず前年を下回る状況となりました。

また、原料購入価格はドルベースでは前期とほぼ変わらないものの、為替が円高で推移していることから円ベースでは前期を下回る状況であります。

こうした環境下において、当社は新製品の開発を進める等先を見据えた対策を実施しております。

以上の結果、売上高は985百万円(前年同期比50百万円減)、セグメント利益は124百万円(前年同期比48百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の資産につきましては、前期末に比べ1,253百万円減少しました。これは売掛金が168百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が688百万円、棚卸資産が535百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ975百万円減少しました。これは買掛金が501百万円、未払法人税等が370百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ277百万円減少しました。これは四半期純利益366百万円計上する一方、配当金の支払い610百万円により利益剰余金が244百万円、繰延ヘッジ損益が19百万円、その他有価証券評価差額金が12百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,068	6,380
受取手形及び売掛金	4,538	4,706
商品及び製品	891	849
仕掛品	551	609
原材料及び貯蔵品	3,033	2,483
その他	456	305
流動資産合計	16,540	15,334
固定資産		
有形固定資産	5,132	5,074
無形固定資産	16	17
投資その他の資産	1,512	1,523
固定資産合計	6,661	6,614
資産合計	23,201	21,948
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,045	1,543
未払法人税等	563	193
賞与引当金	179	90
役員賞与引当金	68	18
その他	1,336	1,353
流動負債合計	4,194	3,198
固定負債		
退職給付引当金	700	719
資産除去債務	70	70
長期未払金	41	41
固定負債合計	812	832
負債合計	5,006	4,030
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	12,911	12,666
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,153	17,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21	8
繰延ヘッジ損益	19	△0
評価・換算差額等合計	40	8
純資産合計	18,194	17,917
負債純資産合計	23,201	21,948

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	5,599	5,437
売上原価	3,151	3,028
売上総利益	2,447	2,408
販売費及び一般管理費	1,611	1,808
営業利益	836	600
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	7
為替差益	2	14
雑収入	4	2
営業外収益合計	16	26
営業外費用		
支払手数料	1	1
雑損失	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	851	624
特別損失		
固定資産除売却損	1	5
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	1	5
税引前四半期純利益	849	618
法人税、住民税及び事業税	300	186
法人税等調整額	55	66
法人税等合計	356	252
四半期純利益	492	366

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	849	618
減価償却費	158	145
その他の償却額	1	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△69	△89
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△54	△50
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△9	△8
支払手数料	1	1
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	1	5
売上債権の増減額(△は増加)	△230	△168
破産更生債権等の増減額(△は増加)	0	0
たな卸資産の増減額(△は増加)	413	535
前払費用の増減額(△は増加)	△15	45
未収入金の増減額(△は増加)	△0	0
その他の資産の増減額(△は増加)	△50	△4
仕入債務の増減額(△は減少)	△611	△501
未払金の増減額(△は減少)	△193	△4
未払費用の増減額(△は減少)	△10	△15
未払消費税等の増減額(△は減少)	62	△38
その他の負債の増減額(△は減少)	38	48
小計	297	541
利息及び配当金の受取額	9	8
支払手数料の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△580	△548
営業活動によるキャッシュ・フロー	△277	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63	△148
無形固定資産の取得による支出	△3	△0
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△0	△2
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付金の回収による収入	1	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
株式公開費用の支出	—	△12
配当金の支払額	△523	△522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△523	△535
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△867	△688
現金及び現金同等物の期首残高	6,459	7,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,592	6,365

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,562	1,036	5,598	0	5,599
計	4,562	1,036	5,598	0	5,599
セグメント利益	663	172	836	0	836

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	836
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	836

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,450	985	5,436	0	5,437
計	4,450	985	5,436	0	5,437
セグメント利益	475	124	599	0	600

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	599
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	600

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。